

## 平成 29 年度第 2 回民間社会福祉施設職員合宿研修会実施要綱

### 1 目 的

民間の障害者等施設で障害者等の処遇に従事している中堅職員に対し、必要な専門知識、技術を修得させるとともに、参加者相互の交流により、職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 主 催 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〔公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業〕

3 後 援 厚生労働省（予定）

4 実施期間 平成 28 年 9 月 5 日（火）～9 月 8 日（金）までの 4 日間

5 研修会場 ホテルルポール麹町  
東京都千代田区平河町 2-4-3 電話 03-3265-5361（代）  
（交通）地下鉄有楽町線「麹町駅」下車 徒歩 3 分  
（JR 山手線有楽町駅乗り換え）

6 宿泊場所 上記に同じ

### 7 受講者の資格

民間（公設民営を含む）の障害者等施設において、障害者等の処遇に直接従事する生活支援員・介護職員等で、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- （1）社会福祉施設における業務経験が通算して 3 年以上で、かつ、当研修受講後も引き続きその施設に勤務する意思のある者
- （2）当研修に参加したことのない者
- （3）研修開催期間において、研修会場に宿泊できる者（2 人部屋または 3 人部屋）

8 受講定員 50 人

### 9 受講希望者の推薦

受講希望者にかかる都道府県・指定都市の推薦は、「平成 29 年度第 2 回民間社会福祉施設職員合宿研修会受講者推薦書」（別紙様式 1）の提出によるものとする。

## 1 0 受講者の選考

次の選考基準により受講者を選考する。

### 【選考基準】

- (1) 都道府県・政令指定都市の推薦者のうち各 1 名  
ただし、推薦のあった都道府県・政令指定都市の優先順位 1 位の推薦者の合計が定員を超える場合は、基準の (3) 以降により選考する。
- (2) 都道府県・政令指定都市の推薦者のうち優先順位 2 位の者を、基準の (3) 以降により選考する。(優先順位 3 位以下の者も同様に選考する)
- (3) 当研修に参加したことのない社会福祉施設の者
- (4) 利用者人数の多い社会福祉施設の者
- (5) 社会福祉施設における業務経験の長い者

## 1 1 研修費用等

研修にかかる研修費(含むテキスト代)、旅費、宿泊費、食費は当センターが負担する。

- (1) 旅 費  
当センターの旅費規程に基づいた金額を指定の口座へ振込むものとする。  
※受講者自宅所在地の最寄り駅から研修会場までの実費(領収書の提出)
- (2) 宿泊費  
研修期間内の宿泊は、当センターが手配する。
- (3) 食費  
研修初日の懇談会費及び研修 2 日目から 4 日目までの朝食及び昼食は、当センターが手配する。

## 1 2 研修内容

研修科目及び時間(予定)

科 目	時間	科 目	時間
障害者福祉行政の動向	1.5	レクリエーション	3.0
特別講義	1.5	事例研究	4.0
事例研究バズセッション	3.0	個別支援計画と演習	3.0
障害者の心理	2.0	リスクマネジメント	1.5
行動援護とアセスメント	2.0	9科目	21.5

## 1 3 体験事例の提出

- (1) 受講希望者は、「事例研究」の題材として、施設で体験した「入所者処遇において成功した事例または現在直面している事例」について、次の①《個別援助事例》または②《集団援助事例》のいずれか一方を作成し、推薦書と同時に提出すること。
  - ①《個別援助事例》は、「事例研究」様式 1 によること。
  - ②《集団援助事例》は、「事例研究」様式 2 によること。

- (2) なお、「事例研究」において発表する事例は、受講者として決定された者の体験事例の中から、当センターが担当講師と打合せのうえ4～5ケースを選定し、資料としてまとめ、別途、受講者全員に事前に配付する。

#### 1.4 受講者の携行品

- (1) 印鑑
- (2) ノート、筆記用具
- (3) 健康保険証
- (4) スポーツウェア、スニーカーの類
- (5) 施設パンフレット・名刺等

#### 1.5 レポートの提出

- (1) レポートのテーマは、研修期間中に提示すること。
- (2) 受講者は、研修終了後、当センターが指定する期日までにレポートを提出すること。
- (3) 提出されたレポートは、報告書としてまとめ、関係機関に配付する。なお、併せて、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団のホームページに掲載するものとする。

